

ピコレーザーとは

- トナーリング：しみや肝斑などのメラニン色素を薄くしていく治療です。
- ピコフラクショナル：レーザーにより皮膚に点状に熱を加えることで、コラーゲン再生を促し、肌質改善・毛穴の改善などを行っていく治療です。
- スポット：ターゲットとなるメラニン色素をピンポイントで集中的に照射する治療です。
- ルビーフラクショナル：シミに効果のあるルビーレーザーをフラクショナル状（ドット）に照射することで肌ダメージを少なく徐々にメラニン色素を薄くしていく治療です。

<施術前・施術中の注意>

1. 洗顔後、病変部位にレーザーを照射します。メイクが残っていると照射に支障が出ますのでしっかり落としてください。
2. 施術中に赤みや痛みなどが強くでた場合には、途中で施術を中止する場合があります。
3. 複数回の施術を継続することにより、一層の肌質改善が期待できます。
4. 個人差はありますが、部位によっては際立って改善が見られないことがあります。
5. 治療後、肌は乾燥しやすい状態ですので、十分に保湿をしてください。
6. 治療部位は日焼け止めなどを使用し、必ず紫外線を避けてください。また、洗顔時などにマッサージやスクラブ洗顔などで顔をこすらず、泡で洗顔するように御注意ください。
7. 洗顔、保湿、日焼け止めは12時間以降から、お化粧品は24時間以降から可能です。
8. トナーリング・フラクショナルレーザーの場合、肌質・症状により複数回の治療が必要となります。
9. 大きなホクロ、開いた傷、もしくは皮膚疾患のある箇所は治療を行わないことがあります。
10. 経過観察をする目的で施術部位の写真を撮らせていただきます。撮影後の写真に関しては、厳重に保管し患者様との経過観察以外で無断使用することはありません。
11. 唇に照射する際は、歯の変色や欠損リスクがあります。口は必ず閉じていてください。
12. アートメイク部位は、火傷や変色のリスクがあるため照射を避けて施術します。治療前に必ず申告をお願いいたします。
13. ピコスポット照射時には点状出血、炎症後色素沈着が生じることがあります。

<施術後の注意点>

1. レーザー治療後、シャワーは可能でございますが、激しい運動・入浴・飲酒はお控えください。
※ピコフラクショナルの場合は照射後12時間は洗顔をお控えください。
2. 照射後、皮膚に赤み、膨疹、痒み、火傷、水膨れ、点状出血が出ることがあります。症状が出た場合は状況により軟膏を処方いたしますので医師の指示に従ってください。（別途費用550円を頂戴します）
3. 効果には個人差があり、色素や凹凸の状態によっては、改善が見られない場合があります。
4. 照射後は色素沈着・白斑のリスクがあります。
5. ピコフラクショナル照射後、直後から赤み・熱感・点状出血を生じます。その後1週間ほどはかさぶたが目立つことがあります。
6. ピコスポット照射後、赤みは残りますが、顔は3~6ヶ月、身体は6~12か月で落ち着いていきます。赤みがおさまったあと一時的に色素沈着します。色素が落ち着くまでに顔は6ヶ月、身体は12か月ほどかかることがあります。
7. スポット施術後にテープなどを貼る可能性があります。照射後の処置につきましては医師の指示にしたがってください。
8. ルビーフラクショナル後は赤み、ひりつき、腫脹が2.3時間から1日ほど続きます。徐々に改善しますが、長引く場合は炎症止めの軟膏の処方を致します。

<下記の方は治療をお受けすることができません>

- ・大きな黒子、瞼の上、傷のある部位、傷のある部位
- ・妊娠中、重度の敏感肌、強い炎症（アトピーやかぶれなど）、脂漏性皮膚炎の部位、ヘルペス治療中、
- ・日光過敏症の方
- ・リウマチの方・金製剤を内服したことがある方

★トレチノイン使用されている方は前後2週間、レチノールを使用されている方は前後1週間、過酸化ベンゾイルを使用されている方は前後3日、使用をお控え下さい。

★授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

★止血機能障害のある方、抗凝固剤内服中の方、ケロイド体質の方は医師の判断が必要になります。
ヒアルロン酸、ボトックス等、その他美容治療（レーザー含む）の経験、外科的手術、医療機関での治療歴、治療予定のある方は必ずご申告ください。

自己申告のない方は当院での治療に伴う一切の責任を負いかねます。

以上は一般的な留意事項であり、症状等は個人差が生じる旨、ご理解いただけますようお願いいたします。

©2024 医療法人社団 桜恵会

THE ONE.